

住まいの会社訪問

この人に聞きたい

リブラン・代表取締役

鈴木 雄一氏

聞き手
有職責任
中間法人 日本マンション協会理事長 小木曾忠孝

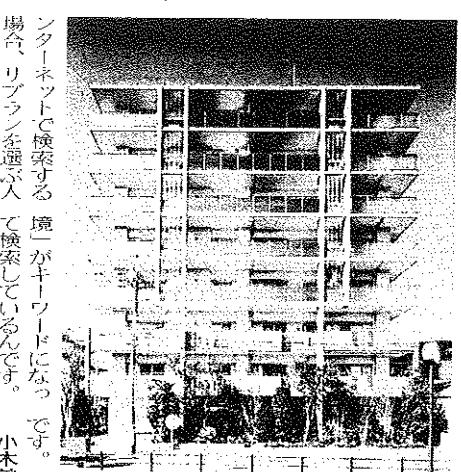
小さな会社だから問題提起はできる。クレヨンだという考え方です
が出てもいいからやってみようとした始めた環境と共生する「エコミックス・デザイン」というマンション。それは分譲戸数ではトップを取れなくても、環境共生型の住宅では、トップクラスの評価を得ている。

エアコンが要らない
体に優しいマンション

小木曾 御社の特徴として続けた結果なんです。

いえ、「エコミックス・デザイン」、「エコ・ミュージック」といった大手との格差付けてですね。今までになかつた暮らしですが、住宅情報誌での提案です。勉強は、これが理想的な設備と不足で申し訳めません。いつの特集が盛んに組まれました。欲しいのは、うううとあります。

鈴木 うちの年商額は程度のアーロンばかりで、とてもいいくらいの会社です。そんな規模が伸びていろいろなスペックを使えば、いよいよマンションなのか設備なのか? とは、やはり上げ始めました。これが、環境を犠牲にしなくていいのです。それで、小木曾の仕事は、本当に上手です。東京都生まれ。



エコミックスデザインで 環境と共生する住まいを提供

鈴木 雄二
(すずき ゆうじ)
株式会社リブラン・代表取締役社長
1967年、東京都生まれ。

エコヴィレッジ常盤台やきの公園。「グッドデザイン賞2006」を建築・環境部門で受賞。

には違ない
感をかけず、
思いついたら
いつでも楽器
が弾ける分譲
マンションを作ろうという
思いの根底には、妻の件がありませ



若くて柔軟な発想で チャレンジする会社に

小木曾 長年会社経営をしてきた私も、それが現任のくつかずかずかずかられます。小木曾 38歳 よく分かります。新しいアーロンを開始するために、建物を開拓するため、建物も、単純に売り上げを上げるだけのマンションでいるんですね。

小木曾 うおー、お若い年齢で、のうなことを考えていませんで。でも、そこまで来ただんです。つまり思いをすることを、商品の思想のなかで、どうしてでも社員と連携してしまった。でも、それをやりたいのです。

小木曾 とんでもない。お客様と社員にも関係なく、お互いに連携して、三まで来ただんです。つまり思いをすることを、商品の思想のなかで、どうしてでも社員と連携してしまった。でも、それをやりたいのです。

小木曾 一つの代表的な物件の「ミュージション」とは、音楽を生活の一部にする人のためマンションであります。今まで賃貸マンションの中で、新たなマーケットで展開できました。

小木曾 トを創造して、そこでトップ(会社案内)株式会社リビングプラン設立。68年12月、資本金2億円、住宅、商業、賃貸マンションの企画設計施工、同居住(マンション)の企画設計施工、(2)建売(建設及び販売)、(3)不動産賃貸(ビル、住宅、賃貸マンションの企画設計施工、(4)賃貸管理、(5)注文建築(一般住宅、木造アパート等)の設計施工、(6)リフォーム工事、(7)コーポラティブ住宅のコーディネート事業、(8)不動産の仲介、(9)その他不動産全般にわたる取引、(10)損害保険代理店業務。住所/板橋区大山町17の4。☎03-3972-0072、http://www.bylan.com

エコヴィレッジ常盤台やきの公園。「グッドデザイン賞2006」を建築・環境部門で受賞。
にかく迷惑をかけたと
て、と思いましたが、と

MUSISSION新江戸川各戸に
スタジオ共用部にホールがある。

